

JCI JAPAN TOYP 2020 エントリーシート

氏名*	門間寛修
フリガナ*	カドマヒロミチ
所属団体*	株式会社ひびたす
活動内容* (200文字以内)	がん患者・家族の「家庭の食事」をサポートするため、インターネットを通じて利用できるレシピサービス「カマエイド」を運営しています。がん患者は治療の副作用で「味覚障害」等の栄養摂取に関する課題を抱えます。通院して治療する患者も年々増加しているため、家庭での栄養摂取をサポートする必要があります。カマエイドは「味覚障害」等の課題に対応する管理栄養士監修レシピを提供し、家庭での栄養摂取をサポートしています。
活動カテゴリー*	<input checked="" type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理・環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・人権 <input type="checkbox"/> 人道支援・ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他()
紹介者氏名 紹介者がある方は記入	川田 勝也
紹介者所属団体	株式会社 S3 ブランディング
JCI JAPAN TOYP を どこで知りましたか？*	青年会議所会員からの推薦()・青年会議所)・ホームページ・フェイスブック・チラシ・メディア()・その他(<u>紹介者からの紹介</u>)
紹介理由 (200文字以内) ※紹介者がある方は 記載をお願い致します。	厚労省のデータを参照すると、癌患者は年々増加傾向で、150万人が継続的治療を受け、日本人の2人に1人が癌になるという状況です。また、治療方法も通院治療が増え、栄養的にはもちろんですが、生活の楽しみとして、重要な食事をしっかりしたメニュー、レシピでサポートするサービスは、今後の超高齢化社会にとっても必要不可欠な事業として、ぜひ、知っていただきたいと思い、推薦させていただきました。

■PR活動（全200文字以内厳守）

<p>顔写真*</p>	<p>(写真貼り付け)</p> 
<p>経歴 (200 文字以内)</p>	<p>2016 年 1 月 株式会社 STSP(現:株式会社ひびたす)設立 2018 年 1 月 カマエイド事業本格稼働 2019 年 1 月 ICTビジネスモデル発見&発表会 2018 四国大会 ビジネス部門最優秀賞 & 香川県知事賞 2019 年 12 月 第6回いよぎんビジネスプランコンテスト 最優秀賞</p>
<p>活動PR1* (200 文字以内)</p>	<p>がん患者向けのレシピサービスとしては日本最大規模であり、掲載レシピ数も 1,500 本以上掲載しています。一般のレシピサイトと異なる点として、以下の点が特徴です。</p> <ul style="list-style-type: none">・管理栄養士が監修したレシピのみ掲載しており、レシピ毎に POINT を解説。・「吐き気」「味がしない」など、人それぞれである悩み毎にレシピを検索できる。・レビュー、お気に入り登録数により、他の患者さんや家族の経験をシェア。
<p>活動PR2* (200 文字以内)</p>	<p>外部とのタイアップコンテンツも提供しています。がんセンターなど医療機関で提供されているレシピ紹介や、市販品情報掲載およびアレンジレシピも紹介しています。がん治療の中で、医療機関から栄養補助食品を紹介してもらった患者さんの割合は約 30%と低い水準であると言われていいます。患者さん・家族は情報収集に課題があり、メーカー側は市場認知に課題を抱えており、カマエイドを通じてそれぞれの課題解決につなげています。</p>

<p>活動PR3 (200 文字以内)</p>	<p>社会的課題の解決に挑戦していますが、ビジネスモデルを構築し、持続可能な事業構築に挑戦しています。BtoCとしては、がん患者さん・家族向けに無料・有料それぞれのサービスを提供することで収益化を図っています。BtoBとしては、主に食品メーカーからの収益となり、PRレシピ考案や広告掲載(販促物制作)により収益化を図っています。地方の企業となりますが、東京本社大手企業と直接商流でタイアップしています。</p>
<p>SDGsのゴールと ターゲット番号及び 結びつきの説明 ※SDGsの取り組みをし ている方は記載をお願い 致します。</p>	<p>番号の記入(3) (すべての人に健康と福祉を) 説明(がんは5年生存率も年々向上してきており、治療・経過観察をしつつ暮らしていく病となってきたため、食の悩みは毎日の暮らしに影響してくるため、悩み解消につながるサービスを提供し、QOL 向上へつなげていきます。また、がんは根治した場合でも、口腔内や消化器官を手術した方は、咀嚼・嚥下や下痢・便秘などの悩みをずっと抱えて暮らすこととなります。この方達もサポートしていきます。)</p>

■ 質問事項 (全200文字以内厳守)

<p>質問1* (200 文字以内)</p>	<p>活動を始めたきっかけを教えてください 身内(実姉)のがん罹患がきっかけです。姉は闘病生活の後に他界しましたが、がんという課題に対し、何かしたいと考えました。身内の罹患が判明した時に感じた無力感や生活の課題など、当事者だから共感できる点も多いと考え、主にがん患者家族をサポートしたいと考え、取り組みを始めました。がん患者家族は第2の患者と言われていますが、実際はサポートする側を担うこととなり、心身ともに疲弊しておりサポートが必要です。</p>
<p>質問2* (200 文字以内)</p>	<p>この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン) がんになっても前向きに暮らせる社会の実現に向けて挑戦したいと考えています。現在は食事・栄養面でのサポートがサービス内容となりますが、就労問題・外見変化など、暮らしのなかでたくさん課題を抱えています。これらは医療機関ではサポートしきれない分野であり、現在のサポート体制は不十分であると考えています。これらの医療の一步外にある課題についても、課題解決に向けてチャレンジしていきます。</p>
<p>質問3* (200 文字以内)</p>	<p>未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション) カマエイドの会員に対し、アンケート・インタビューを進めています。現在はおもに食事・栄養面に関するヒアリングがメインとなりますが、がんになった後に感じた課題をヒアリングする機会を設け、生の声を収集しています。会員との関係性を高めることで、様々な課題に関して課題をヒアリングする事ができ、新たなサービスの種を見出しています。</p>
<p>質問4* (200 文字以内)</p>	<p>あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト) 社会的課題への挑戦のなか、NPO 等非営利法人ではなく、ビジネスの手法やファイナンスを取り入れています。収益化し、持続可能な事業を構築することで、安定したサービスを提供できるようになり、他の事業への投資もできるようになると考えています。カマエイド事業の取り組みが認知される事により、他疾患や他分野など、ソーシャルビジネスへチャレンジする方がもっと増えてくるきっかけになると考えています。</p>
<p>質問5 (200 文字以内)</p>	<p>あなたの考えるリーダーシップをお答えください 半年後、1年後、3年後と、自分たちや事業がどうなっているか、どうなっていたいか、目指す場所を明確に示す事こそがリーダーシップであると考えています。</p>